

市政の動き

3月定例市議会

市長総括説明から

3月3日、平成20年第1回市議会定例会が開会され、新年度のまちづくりと市政運営にあたる所信を述べるとともに、平成20年度予算を始めとする提出議案の説明を行いました。

その概要をお知らせします。

《市政運営にあたる所信》

(一) 一ふるさとの魅力を

際立たせるまちづくり

豊岡は、6つの地域が個性特徴を大切にしてきました。地域間の連携をさらに強めながら、地域固有の自然、歴史、伝統、文化に根ざしたまちづくりを進め、豊岡の魅力を高めていきます。

(二) 自然に抱かれて

生きるまちづくり

「コウノトリも住める豊かな環境の創造」と、「オオサンショウウオも住める豊かな環境の保全」を環境に関する2大テーマとしながら、自然との共生をさらに進め、小さな

世界都市」の実現を目指します。

(三) 徹底した行財政改革と

経済成長戦略の策定

本市の財政構造は、歳出構造の肥満体型と歳入構造の虚弱体質という課題を抱えています。そこで今後10年間の経済成長戦略を策定し、長期的視点に立った地域経済の活性化に取り組んでいきます。

(四) プロ意識と危機管理意識

を持って職務を遂行する

組織文化づくり

職員一人ひとりが仕事に対してプロ意識と危機管理意識を持ち、市民に対して誠実に対応することが当たり前の組織文化をつくり上げていきます。

(五) 対話と共感のまちづくり

市政情報の積極的な公開と

効果的な提供に努め、市民の皆さんとの対話を重視し、対話から生まれる共感をもとにまちづくりを進めていきます。六広域的な地域連携の強化（広域交通網の整備、羽田直行便の実現、医療システムの確保など、広域連携が必要な課題が山積しています。）

より広域的視点に立った地域連携を強めていきます。

《信条》

夢に向かい、願うこと 願

い続けること 投げ出さない

こと」を信条としながら、誠

心誠意尽くしていきます。

《主な施策等》

■安全に安心して

暮らせるまち

・円山川緊急治水対策事業の推進等防災事業に取り組むとともに、全国瞬時警報システム（Jアラート）の整備、AEDの配備充実など安全な暮らしづくりを進めます。

・「すこやか人間ドック」の実施など市民の健康づくり対策を進めるとともに、高齢者や障害者の自立と社会参加を支援します。

■人と自然が共生するまち

・（仮称）八チゴロウの戸島湿地は、本年11月のオープンを目指し、県と市が共同で整備を進めています。また、企業等を対象としたコウノトリ野生復帰への参加促進の仕組みを検討し、環境経済戦略を推進します。

・レジ袋の削減などに取り組むとともに、木質バイオマス元年」と位置付け、バイオマスタウン構想を推進します。

・クリーン・グリーン作戦などの環境美化事業の推進などを図ります。

■持続可能な力を

高めるまち

・農林水産業、商工業、観光、サービス業などの産業振興を図ります。また、経済成長戦略を2力年かけて策定することとし、まずは各産業の現状分析、産業連関表の作成等を行います。

・豊岡駅前広場整備事業に着手します。また、地籍調査事業、住環境や道路整備、公共交通の確保・充実、魅力ある景観形成や地域情報化の推進を図ります。

・総合的な子育て支援、少子化対策を進めます。秋には、幼稚園・保育所の一元化、再編、民営化の3つの視点から検討している「幼保対策審議会」からの答申を得て、施設整備計画を策定します。

■未来を拓く人を育むまち

・近畿地方唯一の明治期の芝居小屋「永楽館」を復原し、8月には「柿落大歌舞伎」の興行を行います。また、各地区公

■人生を楽しむ

お互いを支え合うまち

・近畿地方唯一の明治期の芝居小屋「永楽館」を復原し、8月には「柿落大歌舞伎」の興行を行います。また、各地区公

民館の増築・改修を行います。・資母地区で実施した「空き家・空地調査業務」をもとに、相談会の開催、情報提供事業に取り組みます。

■市政の運営

・豊岡地域では玄武洞公園の整備、総合健康ゾーン推進事業の実施、さらに、豊岡かばんの地域ブランドの確立や後継者育成などを支援します。

・城崎地域では、城崎温泉と市内各地の観光拠点を有機的に連携させた滞在型観光を推進するとともに、木屋町小路を新たなスポーツとして振興を図ります。

・竹野地域では、海・川・山を活かした参加体験型・滞在型の観光を進め、各種団体が連携して取り組む「たけのスタイル」の確立を支援します。また、竹野北前館の施設改修計画を策定します。

・日高地域では、四季を通じてスポーツのメッカ・観光スポットとして振興を図ります。平成20年度は全日本総合男子ソフトボール選手権大会の支援を行います。

・出石地域では永楽館の復原と活用を図るとともに、酒米

フクノハナによる農業活性化を促進します。

・但東地域では、たんたん温泉福寿の湯の整備、交流イベントやグリーンツーリズムなどによる交流人口の増加を図ります。

・市民と行政が「協働」できる仕組みづくりを進めます。また、市民の皆さんとの座談会を開催し、互いの想いを共有します。

・効率的、効果的な組織とし、事務事業評価の実施、職員の削減による行政改革の推進、職員育成の研修事業や自己研鑽の支援などを行います。

《主な項目の詳細》

○KTR宮津線円山川橋梁

架け替え事業

本年度末に工事着手されることとなりました。市としても1日も早い完成に向けて全面的に協力していきます。

○総合健康ゾーン

整備運営事業

優先交渉権者を決定しました。平成21年度末の完成を目指します。

○北但広域療育センター整備

8月の完成を目指し、工事が進められており、10月から

の開設を目指します。

○コウノトリの野生復帰

「G8環境大臣会合」の関連イベントにおいて、市のコウノトリをめぐる取組みをPRします。

○豊岡市「生きもの共生の日」

放鳥コウノトリのヒナが初めて誕生した5月20日を「生きもの共生の日」と制定します。ラムサール条約湿地登録

湿地の保全と利用を目的とした国際湿地条約であるラム

サール条約に基づき(仮称)ハチゴロウの戸島湿地を含む

円山川下流域が、平成23年に登録されるよう取り組みます。

○広域ごみ・汚泥処理施設の建設計画

3月中に最終候補地が決定される予定です。

○バイオマスタウン推進事業

木質バイオマスの利活用促進として、ペレットストーブを公共施設に計21台を配置します。

○兵庫県大型観光

交流キャンペーン

10月からプレキャンペーンが始まります。本市の観光素材、周遊ルートなどの情報を提供し、本市の魅力を全国に

発信していきます。

○JR豊岡駅前広場整備事業

駅舎とエレベーターの整備は、平成22年度完成予定、事業全体の完成は平成24年度の予定です。

○地域情報化事業

市民が等しく情報通信技術の利便性を享受できるよう、光ファイバー網の拡大、携帯電話の移动通信用鉄塔の整備、テレビ受信用の辺地共聴施設の改修促進を図ります。

○子育て支援

総合的な放課後対策として「放課後子どもプラン事業」の実施、また女性の社会参加の応援、FM放送を利用した「子ども・子育て情報」の提供などを新しく実施します。

○日高総合支所

庁舎改修整備事業

1階に支所機能を集約、2階を図書館日高分館として整備を行います。

○豊岡市立養護老人ホームの民営化について

平成21年4月1日をもって

社会福祉法人に移管します。

今年10月には、移管先を決める予定です。

○新庁舎建設

豊岡市新庁舎建設市民検討

委員会から、本年12月には、庁舎規模・機能や建設候補地等について報告を受け、建設位置を決定し、基本構想等を策定します。

○全但バス路線の休止対応

現行路線バスのある地域に對しては、何らかの地域公共交通を確保する方針です。4月から、再度、市民説明会を開催します。

○出石磁器

トリエンナーレ事業

平成6年度から3年ごとに開催してきた事業ですが、廃止することとします。

○竹貫地区分譲宅地計画

現状のままでは宅地の分譲はきわめて困難であり、計画は中止します。関連する県道の促進については、今後も引き続き県に要望していきます。

○常備消防の広域化

「消防組織法」が改正されたことを受け、県の推進計画がまとめられることとなっています。市としては、広域化に慎重に対応すべきである」との立場を表明しています。

○地域力再生事業費補助制度

自治会やまちづくり団体な

どの、地域力の活性化を図る

新たなソフト的取組みに對して、30万円を上限に補助しうと創設したものです。

○都市計画税の

あり方の見直し

議会の皆さんとの議論はもちろんのこと、チラシを全世帯に配布するとともに、説明会を開催して市民の皆さんの意見を聴きます。これらを踏まえて最終方針を決定し、平成21年度当初の実施を目指します。

○ふるさと納税

現在、地方自治体への寄付金控除制度の改正として審議

がなされています。制度の導入がなされた場合、寄附を通じた市政への参加呼びかけなど、遅延なく働きかけができるよう準備を進めています。

○固定資産税の課税誤りの

点検状況等

昨年夏以降、全体像を把握するための調査および処理を続けてきました。対象の方々には2月末までにご理解をお願いしました。

市民の皆さんに改めてお詫

びするとともに、再発防止策を講じていきます。